

令和4年度 杉並区立松ノ木小学校経営方針（概要）

教育目標

- やさしい子供
- 考える子供
- たくましい子供

1 基本方針

目指す学校の姿

「自ら学ぶ児童を育てる」学校

目指す児童の姿

自分に自信をもち、粘り強く学びに向かう子供

2 指導の重点

- 個別最適化された学びの実現
- 児童が主体的に関わる学習活動の実現

3 重点を達成するための視点

○子供が主体の学校づくり ~子供の笑顔はみんなの力の源~

学校運営の一番の基準は「子供たちのために」。安全・安心の学校づくりはもとより、確かな学力を保障します。関わりと実感を通して、主体的な学習態度を育てます。学力保障と共に自己肯定感を高め自信をもって生きる子供を育てます

3つの向上

- 学力向上
- コミュニケーション力向上
- 自己肯定感向上

○プロの技が光る授業 ~教師の笑顔は子供の力の源~

教員としての最大の義務である授業の力を高めます。校内研究を軸に、研修や多様な人材活用を通して、自らの資質向上と共に、専門性の向上に努めます。また、個々の児童の実態に応じた指導を展開し、児童の学力向上に努めます。ICTも積極的に活用します。そういったことの積み重ねが、よりよい学級集団の育成、ひいては学校づくりにつながります。

3つの充実

- 個別最適化され指導の充実
- 授業の充実
- 学級経営の充実

○当事者意識をもったチーム松ノ木 ~保護者・地域の笑顔は子供の力の源~

子供たちの健全育成のためには、家庭・地域との協働は不可欠。保護者・地域・CS支援本部の力を最大限に生かし、地域の人材を活用した学校運営を行います。また、地域と関わる学習を展開することで、地域に生きる児童を育成します。それぞれの立場の方が当事者意識をもって協働することで、より豊かな幅の広い学習環境が整うことになります。

3つの協働

- 教職員の協働
- 保護者との協働
- CS・学校支援本部との協働